

会 議 録

会議の名称	第7回吉川市総合振興計画審議会	
開催日時	令和4年1月28日(金)	午前・ <input type="checkbox"/> 午後 6時00分から 午前・ <input type="checkbox"/> 午後 7時00分まで
開催場所	中央公民館101・102会議室	
出席委員(者)氏名	加藤克明委員、齋藤詔治委員、小野潔委員、雪田きよみ委員、林美希委員、岡田早苗委員、田村正夫委員、本間寛隆委員、菊地純松委員、廣瀬正子委員、石阪督規委員、宮地さつき委員、高崎康男委員、中島新太郎委員、高橋健太郎委員、石井亮英委員、齋藤和雄委員、木原十三男委員、星座正俊委員、秋元智子委員	
欠席委員(者)氏名	小林照男委員、戸張加代子委員、飯田勝委員、佐藤梨帆委員、塩崎巧巳委員	
担当課職員職氏名	政策室長 浅水明彦 政策室副室長兼政策室主幹 岡崎久詩 政策室調整幹 野尻宗一 政策室企画担当副主幹 油川誠 政策室企画担当副主幹 相川美佐子 政策室企画担当主任 林希 政策室企画担当主任 平塚雅史 政策室企画担当主事 三浦雄太郎	
会議次第と会議の公開又は非公開の別	[次第] 1 開 会 2 あいさつ 3 議事 (1) 前期基本計画(原案)に係るパブリック・コメントについて (2) 前期基本計画(原案)に係る答申について 4 その他 5 閉 会 [公開・非公開] 公開	
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)		
傍聴者の数	0名	
会議資料の名称	・ 次第 ・ 第6次吉川市総合振興計画前期基本計画原案に係るパブリック・コメント ・ 修正箇所について ・ 第6次吉川市総合振興計画 前期基本計画(原案)に係る答申に付す意見(案) (配付資料)	

会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	廣瀬正子委員、高橋健太郎委員
その他の必要事項	なし
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	1 開会 それでは、第7回吉川市総合振興計画審議会を開催させていただきます。開催にあたり1点ご報告させていただきます。 これまで皆様にご審議いただき市議会12月定例会に上程させていただいておりました、第6次吉川市総合振興計画基本構想につきましては賛成全員にて、原案のとおり可決いただきましたことをご報告させていただきます。
石阪会長	2 会長あいさつ ただいま、ご報告いただいたとおり基本構想について市議会で可決され、これまで皆様から議論いただいた将来都市像やまちづくりの基本理念、目標について市民の代表の方々に正式に認められたということである。 先般、パブリック・コメントを行政が行い、そのパブリック・コメントで出てきたご意見を踏まえ再度、基本計画について審議していきたい。 これが皆様から意見をいただく最後の機会となる。こうしたコロナの状況であるが、皆様の意見を反映させる機会ということで本日、会議を設けさせていただいた。 それぞれの立場の考えもあるかと思うので忌憚のないご意見をお願いしたい。
事務局	3 議事 議事録の署名委員として廣瀬正子委員、高橋健太郎委員を選任。傍聴要領に基づき、会議を公開とする。 (1) 前期基本計画(原案)に係るパブリック・コメントについて 資料1及び資料2を説明
秋元委員	資料2別添の関連するSDGsについて、これはマークと書いてあるがこの目標、アイコンを掲載しますということか。 このアイコンは、マークではなく目標と呼称しており、普通は目標だと思うが如何か。

事務局	基本計画案では、SDGs ゴールマークという表現をしている。
秋元委員	普通は目標と呼称している。マークとは聞いたことがないので、目標でいいのではないか。
事務局	承知した。見え方と説明の仕方に注意して訂正させていただきたい。目標については、各施策の中で示しており、お手元にお配りした一覧表はそれをまとめた内容である。
宮地委員	用語解説について「要保護児童対策地域協議会」について確認したいが、こちらの説明文に「要保護児童の早期発見と・・・その家族への適切な支援を図る」とあるが、法的には要保護児童等となっているが、吉川市では要保護児童に限ると理解してよいのか。
事務局	担当課に確認させていただき、今のご指摘を踏まえ必要な場合は訂正をさせていただきたい。
宮地委員	法的には「要保護児童」「要支援児童」「特定妊婦」が含まれる。これらも踏まえて協議会をされていると思うのでそれらについて修正されたい。
石阪会長	<p>今回のパブリック・コメントにて市民の皆様のご意見をいただいたということで、前期基本計画原案について先程の確認を踏まえ、全体を通して意見が無いようであれば答申という作業に入りたい。</p> <p>この原案に対する答申として、妥当であるというご判断をいただくということによろしいか。</p> <p>※異議なし</p>
石阪会長	<p>審議会として、前期基本計画原案については妥当ということで進めさせていただく。</p> <p>この前期基本計画を進めていくにあたって、審議会として留意すべきこと、あるいは反映していただきたいことを付帯事項としてお付けしたい。</p> <p>事務局より資料を配布するので確認いただきたい。</p> <p>※事務局より資料配布</p>
石阪会長	<p>配布資料は、これまでの審議のプロセスで皆様からご意見をいただき、その意見を踏まえて、私と副会長、事務局とで協議しながら、集約し、答申に付すべき意見として案を作成したものである。</p> <p>こちらは、市が計画を進めるにあたって、審議会としてこう</p>

いった点に留意してほしいという要望のようなイメージのものである。

こちらの内容について過不足あればご意見をいただきたいと思うが、1つずつ説明をさせていただく。

1 社会情勢に適応したまちづくり

これは、審議会においてもデジタル化の問題や高齢化による公共交通の満足度が上がるような取組をしてほしいといったご意見があったと思う。高齢化やデジタル社会、こうした文言を入れさせていただいた。

また感染症対策、アフターコロナ、ウイズコロナの時代にあって、市民ニーズを把握しながら、こうした感染症に対応できる柔軟な社会の構築ということを行政に求めていくという点で新型コロナウイルスなどの新たな感染症による変化に対応した社会を築いてほしいという趣旨である。

これは重点テーマ1の「命を守る」にも対応している。

2 次世代を育むまちづくり

本計画では、子どもと教育を一体化して部門を作ったということがオリジナルな部分である。こども、教育に関するご意見が本審議会でも多かったので、特に「次世代に」ということがポイントで次世代を育むまちづくりをしてほしいということ意見を付けさせていただいた。

また、市独自としては、これまで取り組んでいなかった点でもあるが、若者の就労支援といった若者支援の取組について、こちらを引き続き市として力を入れていただきたいということで「若者支援も」という形で付け加えさせていただいた。

こちらについては、重点テーマ2の「子どもの笑顔を未来につなぐ」と、次世代ということ意識した計画というところを強調している。

3 多様性を認め合う共生のまちづくり

これはジェンダー平等に関する問題、性自認や性的指向の問題も議論がなされたところである。また、今後色々な方々と多様性を認める社会を作っていく、多様性を認め合う共生のまちづくり、こうした視点もこの計画には強く反映されている。

また、福祉の分野、地域福祉、高齢者、障がい者全般、こちらに関しても、孤独や孤立、自殺、色々な問題について議論されたので、これらを踏まえ、共生のまちづくりを進めていただきたいということで意見として付けさせていただいた。

特に市民や関係する団体と連携をしながら、行政だけではなく、様々な組織が連携しながら、こちらの「多様性を認め合う共生のまちづくり」を進めてほしいというものである。

こちらについては、重点テーマ3の「誰もが輝くまちをみんなで作る」と、まちづくりの基本理念「共に生き、共に創る」の共生の部分に対応している。

4 持続可能なまちづくり

これは農地の有効活用、農業は非常に大事だということで、

	<p>市街地と農地の調和が保たれている、こういうまちを目指すということである。さらにSDGsの点を踏まえれば「持続可能なまち」にしていくということ。もう一つは環境に対しても配慮いただきたいということで、ここに文言を付け加えさせていただいた。広義でいうと持続可能なまちづくりを目指してほしいということである。</p> <p>農業・環境に十分配慮した調和がとれたまちを目指してほしいということであり、これも重点テーマの「価値を高め、次世代に継承する」というところを反映している。</p> <p>5 協働のまちづくり</p> <p>「みんな」という言葉であるが、この議論の中で「みんなが」できること、「みんなで」できることの違いについて議論されたが、吉川市に関わる「みんなで」施策を推進すること。行政がやったものを市民が享受するのではなく、一緒に進めていくという姿勢、これが協働のまちづくりというところに反映されている。これを意見として入れさせていただいた。</p> <p>計画を作ってもこれがゴールではなく、それをみんなが進めることが大事である。</p> <p>どうやって進めていくのかということまでこの計画の必要な点として盛り込みたいということで協働のまちづくりを入れさせていただいた。</p> <p>これは、共に創る、みんなで作るという基本構想のまちづくりの基本理念を大事にさせていただきたいということである。</p> <p>例えば、この計画の広報、どうやって市民と共有するのか、どうやって広めていくのか、単に紙を刷って配布するだけではなく、若い人から年配の方、色々な方に広報できるような仕組みも作っていかねばいけないということで、答申に付す意見としてここに加えさせていただいた。</p> <p>こちらについてご意見があればお願いしたい。</p> <p>秋元委員</p> <p>この審議会が始まった時に国の率先施策はデジタル化と脱炭素だったと記憶している。吉川市も5市1町でゼロカーボンシティ宣言をされている。その関係上、脱炭素をどこかに入れたほうがいいのではないか。</p> <p>石阪会長</p> <p>脱炭素、カーボンニュートラルは非常に大事であるが、これは「環境に配慮した取組」という言葉を入れさせていただいている。</p> <p>具体的な脱炭素の目標、計画については、それに関連する事業やアクションプランの中で語られているところであり、あまりにも具体的なものをここに書いてしまうと、他にこれはどうなのかということにもなってくる。</p> <p>環境に配慮した取組という表現の中に入るということで理解いただきたい。</p> <p>石阪会長</p> <p>急に配布されて意見を求められても難しいかもしれないが、</p>
--	--

	<p>基本的には計画を推進してもらうための付帯事項で、時間が少しあるので何か思いついたらご意見いただきたい。 これを付して答申するということについては如何か。</p> <p>※異議なし</p>
石阪会長	<p>それではこちらの方で市長に答申するという形をとりたい。 議題として議論いただく部分は、その他を除けば以上となるが時間があることと、これが最後の会議となるので、皆様から一言、感想やご意見をいただきたい。</p>
菊地委員	<p>市民を想っての計画がこの中に網羅されている。というのが私の感想であるが今後、いかに進めていくのかということが大事だと思う。</p>
石阪会長	<p>折角計画を作って、それをどうやって進めていくのかというところがあまり議論されないということもあるが、付帯事項の協働のまちづくりによってこの計画を進めていただきたいということでご意見を含ませていただく。</p>
廣瀬委員	<p>高齢者の交通網、公共交通について要望してきたが、付帯事項案の社会情勢に適応したまちづくりの中に、高齢化に伴う公共交通についても盛り込んでいただいたので安心している。今のままだと不安で厳しいと感じている。駅の南に住んでいるが、市を当てにしているのはいつになるかわからない部分がある。自分たちの事は自分たちでやろうと共同体をつくって、買い物や駅までの移動策を話し合いながら考えている。 市にはこうした施策を是非進めて欲しい。</p>
石阪会長	<p>地域の方と行政が一緒にできると良いと思う。</p>
本間委員	<p>今回の総合振興計画は、まず次世代を育てる、人を育むまちを掲げており、子どもを抱えている世代にとって非常にありがたい形にまとめていただいた。 他市の事例をみるとインフラ整備等が先にあり、人のことは後になっているが、吉川市は人を育てるところが最初であり、他市に対して誇れる自慢したい計画ができたと思う。 今後、市やPTA、まちの皆様と一緒に実現できるように頑張っていきたい。</p>
石阪会長	<p>2番目の付帯事項案、次世代を育むまちづくりが大事であり、吉川市の一つの看板だと思っている。 こちらについて、かなり力を入れていただけるものと理解している。</p>
斎藤（和）委員	<p>第5次総合振興計画の将来都市像は、「人とまちが輝く 快適都市 よしかわ」だったが、今回、「幸せつながる みんなのまち よしかわ」と変えていただいた。快適都市というと、地下鉄が走るとか高速道路というインフラのイメージになりがちだ</p>

	<p>が、みんなのまち、協働でやっていく感じが出ていて5次に比べ6次の方が良いと思っている。他の審議会では審議会が形骸化しているイメージもあったが、今回審議会に参加してみると、議論がきちんとされていて良かったと思っている。政策室にお願いしたことも入れてもらったので感謝したい。</p>
岡田委員	<p>4番目の付帯事項案の持続可能なまちづくりということで、吉川の水と緑豊かな都市を守っていくと記載され、これからもよろしくお願いしたい。</p> <p>農業委員としても人・農地プランなど色々なことを始めているところであり、今後もみんなの問題として、農地を活用して守っていければと思う。</p>
石阪会長	<p>農業の問題はかなり議論されてきた。跡継ぎ問題や農業支援が向上するか、土地利用をどうするかと議論いただいたので、「持続可能な」という視点の中に入れさせていただいた。</p>
田村委員	<p>素晴らしい総合振興計画ができたと思う。1つ1つ細かいことまで審議してきた。</p> <p>計画を立てただけではなく、実行するために努力することが大事だと思う。</p> <p>計画でも農商工という順番で、農業が1番前に来ている。形だけではなく農業を見捨てずに市で取り組んでいただきたい。</p>
中島委員	<p>全体的にそれぞれ内容のある計画が出来上がったのではないかと感じている。高齢者の公共交通問題など地域の細かな問題はそれぞれ課題がまだまだある。一つひとつ丁寧にきめ細かく、市民と一体となって取り組んでいただきたい。</p> <p>また、2番目の付帯事項案の次世代を育むまちづくりが大事なポイントではないかと感じている。</p> <p>これからの地域社会を背負っていくのがこれからの子ども達で、その子ども達を地域全体でどのように育てていくのか、そこに大きなポイントがあるように感じている。</p>
高橋委員	<p>協働のまちということで、みんなですべて素晴らしい計画が作成することができたと感じている。みんなで積極的に行動し、参加していきたいと考える。</p>
高崎委員	<p>立派な基本計画が出来たと思う。これが絵に描いた餅にならないよう実効性をもって市民・自治連合会・自治会各種団体で実現に向けて話し合っって取り組んで行きたい。</p> <p>5年先10年先には、改善しなくてはならない点が出てくるかもしれないが、まだ計画であってこれからの実行に期待していきたい。</p>
石阪会長	<p>まさに、PDCAサイクルのPlanの部分、最初の段階である。これからDo、Check、Actionと動いていくわけで、ご意見のとおり計画を作っただけでは意味がない、これを実行に移し、チェックをし、次につなげていくというプロ</p>

	<p>セスをみんなで行うことが非常に大事である。</p>
木原委員	<p>付帯事項案の中にデジタル社会を入れていただきありがたい。これから基本計画に基づいて実施計画、施策の展開となるわけだが、その各段階で是非ICTを活用して地域の課題等を上手に解決していただきたい。</p>
石阪会長	<p>このICT、デジタルについても行政だけで進めていくのは中々難しく、民間と一緒に進めていく必要がある。 おそらく国も積極的に支援してくれると思うが、吉川市として何ができるのかを今後考えていただきたい。</p>
星座委員	<p>基本構想10年、基本計画5年、前回の計画と比較して、人の暮らしの中で生まれた狭間みたいなものをよく拾っていただいた計画になっていると思う。 その中に福祉という視点も盛り込んでいただいたし、何より私がこの場にいられることが、すごく大きな変化だと思っている。 すごく遠いものだった市の全体計画というものが、障がいのある方、その他色々あるが、そこまできちんと見てくださるなら、自分たちもきちんとしていけないうと自覚させられた。 また今後5年、10年すると、また新たな人の暮らしの中での不適合が起こってくると思う。それを我々も目配りをしながら拾いつつ、障がいのある方も高齢者も同じ市民であるということ忘れず一緒に進んで計画の実行に取り組んでいければと思う。</p>
秋元委員	<p>こういった市の審議会だとあまり発言されないものも多かったが、この審議会では活発な議論がなされて素晴らしいと思う。 環境分野では、私一人であまり声高に言うことができなかった部分もあったが、今後、環境の基本計画や審議会でも発言していきたい。</p>
宮地委員	<p>活発な議論が毎回なされていて本当に頼もしいなと思っていた。子ども達について、吉川市とは色々な事業で関わっているが、職員や地域の方々がすごく生き生きとしているのが私の吉川市に対する印象だったので、この場でもそうした意欲が垣間見えたのがすごくうれしかった。 1点、付帯事項案について、次世代を育むまちづくりで、子どもが受け身になっており、支援される側というのが強くなりがちで、子どもたちの主体性、主権者であるということも是非育んでいただきながら、子ども達がのびのびと育てる、そんなまちになっていったら可能性が広がって良いと思う。</p>
石阪会長	<p>先程ご意見いただきましたカーボンニュートラル、脱炭素の話、それから今の子どもたちの主体性、子ども自身への取組への対応、これは非常に大事なことだと思うので、検討させていただきます。</p>

<p>加藤委員</p>	<p>きたい。</p> <p>10年間の総合振興計画ということで多方面から多数のご意見をいただき、良いものを作っていたらと思っています。</p> <p>また、審議会だけでなくパブリック・コメントで裾野を広げ、市民全体で作りに上げてきた総合振興計画だと思う。議会としても皆様の貴重なご意見を反映させていただくまちづくりの一役を担っていく立場になるかと思うが、皆様のご意見を行政と共に取り組んでいきたいと思う。</p>
<p>林委員</p>	<p>各団体の皆様からこの審議会で重要なご意見をいただいた。それがしっかり盛り込まれた計画がどのように推進されていくか、協働といったところで市民の皆様と一緒に進められるのを見ながら、一市民としても担える部分をしっかり担いながら取り組んでいきたい。</p> <p>答申案は、計画に対する答申として、計画に記載されたこととこれまで中心的に議論された部分が網羅された答申案だと感じている。</p>
<p>雪田委員</p>	<p>この審議会では、活発な議論がなされていた。第5次後期基本計画の審議会にも参加していたが、その時と比べても皆様の熱意が伝わった。素晴らしい計画が出来上がったと思っており、この1つ1つをしっかり進めていく事も大事であると感じている。</p> <p>1つ心に残ったことは、前回の審議会においても公共交通のことが熱く訴えられていたが、5年経っても同様に熱く訴えなければならない状況ということから、課題の大きさを感じている。5年後に同じ発言が無いように皆さんと一緒に進めていきたいと思う。</p>
<p>小野委員</p>	<p>皆様にご議論いただき、このような形で出来上がったものをどうやって具体化、具現化するかということが私たちに課された使命だと痛感している。</p> <p>先程、挟間という言葉もあったが、計画を具体的に進めるにあたって市全体のこと、先ほど道庭・中曽根にお住まいの方からのご意見もあったが、その地域ごとにある課題をどのように解決していくか。そういった部分も推進していきたいと思う。</p>
<p>齋藤（詔）委員</p>	<p>全員参加で計画の策定を進めてきた。首都圏にある吉川市にあって、旧旭村、旧三輪野江村、持続可能な社会と皆様が仰っているような状況がある。健康、産業、農業すべてが彩られるということは、思いやりだと思う。いろんな言葉があるが、感謝とか簡単な気持ちで硬い文言に左右されず元気で毎日過ごせるような総合振興計画になればと思っている。</p>
<p>石阪会長</p>	<p>修正点も含めてご意見をいただきましたので、改めて付帯事項について、私と副会長と事務局とで再度、精査をして取りまとめていきたい。この点についてご一任いただきたい。</p>

<p>石阪会長</p> <p>事務局</p> <p>石井副会長</p>	<p>※一同、同意</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の審議結果や答申内容を踏まえて再度調整を行うとともに計画書の製本作業を進めさせていただく。計画書は作成次第、皆様に郵送させていただく。 ・協働のまちづくりの第一歩として概要版を作成し、4月広報にあわせて全戸配布させていただく。 <p>5 閉会</p> <p>組織の代表として皆様にお越しいただき、想いのこもった計画となったのではないかと思う。事務局とも直前まで調整しながら、答申案を作り上げて、本当に一体となって作った計画となったと思う。お越しいただいている皆様は色々なところで活躍されている皆様なので、様々な場面でお会いすることも多いと思うが、こうした横のつながりは審議会で得たものかと思う。強いつながりを持って計画の実行に活かせればと思う。</p> <p>それでは、以上をもちまして第7回吉川市総合振興計画審議会を閉会といたします。ありがとうございました。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和4年2月10日</p> <p>署名委員 廣瀬 正子 (自署) 署名委員 高橋 健太郎 (自署)</p>	